

# 第8回市民会議 流域連携の実績と課題



河川敷に繁茂する竹林の利活用を先例地に学ぶ  
鷺流峡プロジェクトの勉強会 in飯田市 (H29.9.9)



中山間地振興の活動情報を共有・ネットワークづくりを支援  
山村再生担い手づくり事例集交流会 in根羽村 (H29.4.15)



流域一体化に向けたイベントに参加  
矢作川感謝祭 in豊田市 (H29.9.2)

開催日時：平成29年12月22日（金） 14:00～16:00

場所：豊田市職員会館

# 河川整備における矢作川流域圏懇談会の役割

矢作川流域では、過去から住民が一体となって流域圏という考え方のもと様々な諸課題に取り組んできた歴史がある。

今後、矢作川における治水、利水、環境、総合土砂管理、維持管理等の諸課題を解決し整備計画の目標を達成していくためにも“流域は一つ、運命共同体”という共通認識を持ち、調和のとれた流域圏全体の持続的発展を目指す必要がある。

このためには、学識者や森林組合、漁業協同組合、土地改良区、企業、市民団体、NPO等の各種団体、国、県、市町村の関係行政機関がそれぞれの役割について認識を持ち、互いに連携して諸課題の解決に取り組む必要がある。

矢作川水系河川整備計画(H21.7)より抜粋



## 矢作川流域圏懇談会

- 流域圏一体化の取り組み及び矢作川の河川整備に関わる情報共有・意見交換を図る場
- 矢作川流域圏に関係する組織のネットワーク

# 矢作川流域圏懇談会とは

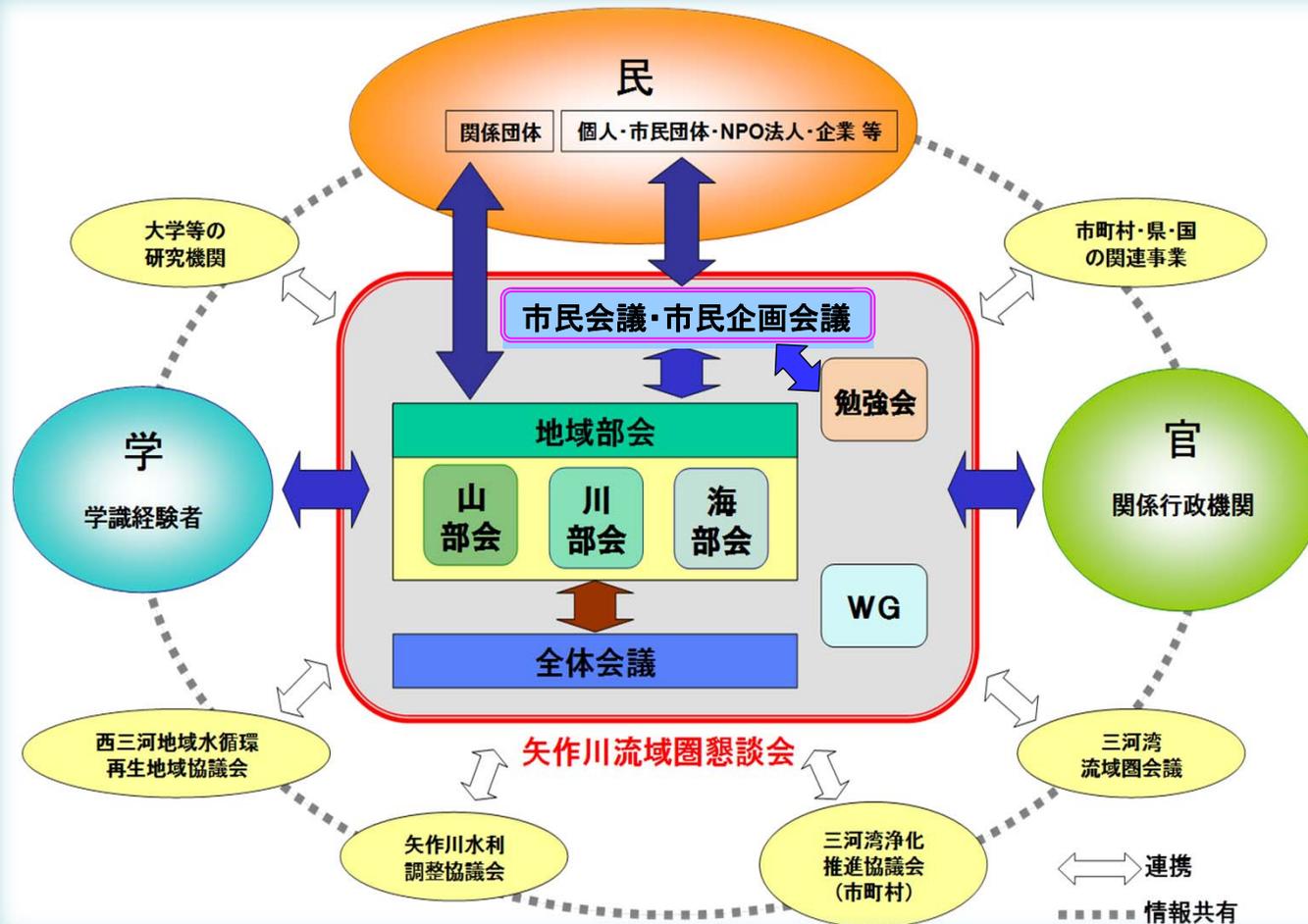
矢作川流域圏のあり方を検討する視点

“流域は一つ、運命共同体”

91組織 277名が登録 (H29.1現在)

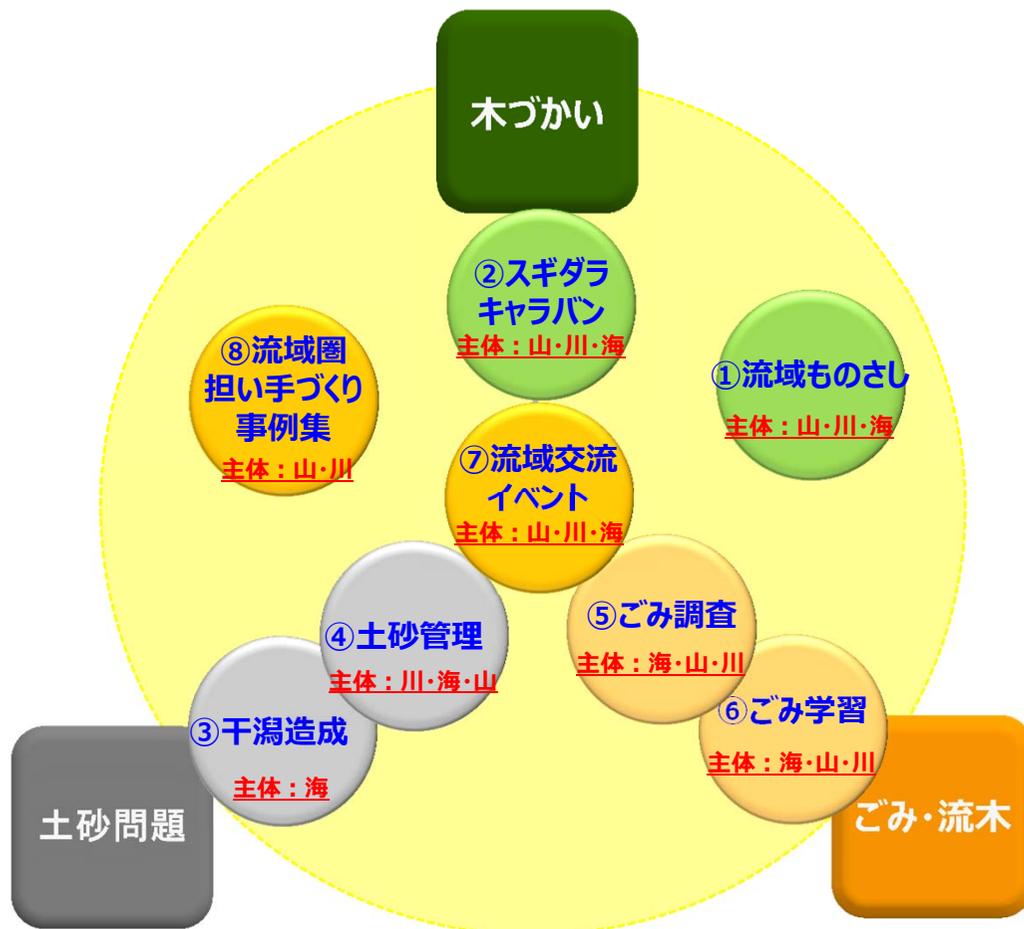
懇談会発足時 (H22.10)  
70組織 135名

- ①流域圏住民・関係者の連携強化
- ②流域圏住民の啓発活動
- ③行政と住民が連携した調査・研究の充実
- ④河川を中心とした流域の社会基盤形成及び地域の活性化



# 流域連携に関する取組み状況

流域圏のメンバーが、合同で「木づかい」「土砂問題」「ごみ・流木」の3つを中心に取組んでいます。



**木づかい**

① 流域ものさし  
流域ものさしと私の流域物語を使って、ひとり一人が流域の魅力を発信する。

② スギダラキャラバン  
市民労働参加型プレイスメイキングプロジェクトを考える。

**土砂問題**

③ 干潟造成  
ダム・河川掘削土砂の活用と各事業者連携の推進

④ 土砂管理  
矢作川総合土砂管理の情報共有

**ごみ・流木**

⑤ ごみ調査  
NPO等の川ごみ・海ごみ調査への協働

⑥ ごみ学習  
愛知県が取り組むごみ学習プログラム等の活用

**⑦, ⑧ 流域圏交流**  
矢作川流域圏一体化の取り組み、相互理解、情報共有や意見交換を図るため、「矢作川感謝祭」などのイベントへの参加や開催、また「流域圏担い手づくり事例集」の作成により、人と人との交流をはかる。

# 木づかいに関する取組み実績

昨年度の全体会議では、流域の共通アイテムとして「流域ものさし」を紹介し、参加者全員に配布されました。今年度は、部会員の活用事例が報告されたり、改善箇所の提案があったり、より良いアイテムとするための意見交換が行われました。



**全体会議で配布された流域ものさし (H29.2.24)**  
矢作川の幹川延長118kmを1/100万(11.8cm)にしたものさし  
流域に生育する樹木をつなぎ合せたもの



**流域ものさしの活用事例 (H29.7)**  
魚貝類のスケールに利用

木づかい推進の一環として、根羽村森林組合が先頭に立ち、スギダラキャラバンを展開しました。



とこでも足湯

**アンフォーレクールチョイスフェス  
in安城市(H29.8.19)**



動く木のおもちゃ

**矢作川感謝祭  
in豊田市(H29.9.2)**



とこでもライブラリー

**いなかとまちの文化祭  
in豊田市(H29.11.25)**

# 土砂に関する取組み実績

矢作ダムの土砂を用いて、東幡豆のトンボロ干潟の一部が造成されました（H27.3）。造成1年後の現況把握においては、大型のアサリが多数確認され、二枚貝をはじめ生物の生息環境として良好な環境が創出されていることがわかりました（H28.4.27）。一方で、造成2年後の現況把握では、周辺部に魚や貝を餌とするサギ類やカワウなどがみられましたが、造成箇所の小型のアサリしかみることができませんでした。今後も継続的な調査を行い、造成の効果の持続性について確認を行います（H29.8.21）



造成1年後の状況確認  
in東幡豆(H28.4.27)



造成2年後の状況確認  
in東幡豆(H29.8.21)



# ごみ・流木に関する取組み実績

海ごみや川ごみについて調査や学習会を行っています。また、関連する団体と一緒に情報共有をしながら取組みを進めています。



22世紀奈佐の浜プロジェクト委員会と協働

**海ごみ清掃活動：藤前干潟エクスカージョン**  
in名古屋市藤前干潟 (H29.6.24)



愛知県と協働

**底引き網による海底の生き物およびゴミ調査**  
in西尾市宮崎漁港 (H27.9.13)



**ごみの実態調査の様子**  
in矢作川河口から14.5km (H25.9.27)



**漂着ゴミの調査**  
in西の浜(H26.6.15) 佐久島 (H26.7.22)



# 流域連携に関するイベントの取り組み実績

今年度は流域連携に関するイベントに積極的に取り組みました。

## ①事例集交流会（H29.4.15）

山村再生担い手づくり事例集に掲載された団体代表者に現況をご報告いただき、意見交換を行いました。新たな発想の展開や人間関係を育む場として、有意義なイベントになりました。



ご発表いただいた団体代表の皆さま



報告会の様子



根羽村の演劇団体との交流風景



夜の懇親会の様子

# 流域連携に関するイベントの取り組み実績

## ②矢作川感謝祭（H29.9.2）

これまでは豊田市民を対象とする川の関係者が主導するイベントでしたが、今年度は農業、林業といった山の関係者も加わり、流域を意識したイベントに発展しました。



岡森フォレストーズ（岡崎森林組合）



高性能林業機械実演（豊田森林組合）



動く木のおもちゃ（根羽村森林組合）



矢作川水族館の観賞風景



薪割体験の風景



矢作川感謝祭実行委員の皆さん

# 今後の流域連携に関する課題と解決手法

現在の山・川・海の連携に関して、問題提起をお願いします。

- 
- 
- 
- 
- 

課題解決のための手法について話し合います。これは、次年度の懇談会運営に活かしたいと思います。

- 
- 
- 
- 
-